

# 地域と子育て家族をつなぐ、 こども主役の暮らし体験「保育園留学」

株式会社キッチハイク（北海道）



「保育園留学」は、こどもが地域の保育園に通いながら、家族で1～2週間その地に滞在する、こどもを主役にした暮らし体験サービス。保育園の一時預かり制度を活用し、主に都市部の子育て家族向けに、保育、宿泊、ワークスペース、地域体験等を含むパッケージプランを提供。12,000人の利用実績（2026年2月現在）があり、今も利用者が増え続けている。こども、親、地域に元気と希望を与えるサービスである。

## 受賞ポイント

- ★ **子育て家族と地域をつなぐ「保育園留学」の仕組みの創り込み**：こどもには自然とふれあう体験を、親にはリモートワーク環境を提供し、地域には交流人口の増加、保育士雇用の継続、経済効果等をもたらす「三方よし」の仕組みを地域とともに構築し、その地域ならではの魅力を引き出している。
- ★ **留学経験者とのコミュニケーションで留学希望者の不安を解消**：経験者を「留学コンシェルジュ」として起用し、希望家族の不安を解消。経験者の感動体験を次の家族に伝え、新たな子育て文化を醸成している。
- ★ **過疎地域の課題解決の一助となる地方創生の優れたモデル**：「こども中心の社会実現」に貢献し、過疎地域の課題解決に加え、都市部での子育ての悩みを解消、都市と地域の2拠点生活を促進するサービスである。

## 事業者概要

### 保育園留学など体験型滞在サービスのパイオニア

家族と地域社会をつなぐ体験型サービスを展開。食や暮らし、子育てをテーマにした多様な事業を手がける。「保育園留学」など、地域での滞在体験を通じて新たな価値を提供するサービスを展開。都市部の家族と地方のコミュニティを結ぶ独自の事業モデルを展開する。

### サービス誕生の背景・経緯

#### 北海道 厚沢部町の認定こども園に魅了される

都市部での子育ての厳しい現実と直面した同社代表が、「世界一素敵な過疎の町」を掲げる北海道厚沢部町の認定こども園「はぜる」に魅了され、役場とこども園に働きかけたことが「保育園留学」誕生のきっかけ。自らが第1号体験者となり、この仕組みが地域の未来につながると確信する。



留学先での活動例

### 海外からも留学児童も受け入れる

クラウドファンディングから始め、2021年より厚沢部町で正式にサービス提供を開始。2年半で40地域への展開を果たす。海外からも留学児童を受け入れるグローバルなプラットフォームに成長している。

### サービスの概要と特徴

#### こどもが地域の保育園に1～2週間通い、家族で滞在

「保育園留学」では、主に都市の子育て家族向けに保育園の一時預かりと宿泊、ワークスペース、地域体験等のパッケージプランを提供。親子での地域の暮らしがプライスレスな価値を生む。サービス開始後2年半の間に全国40地域以上で1,000家族3,500人が利用。参加者のリピート希望率は97%。

#### 地域の暮らし体験でこどもも親もリフレッシュ

こどもは自然の中でのびのび遊び、親はゆったりとした地域の暮らしの中で子育てと仕事を両立できる、家族が元気を取り戻すサービスでもある。

#### 既存の制度を有効に活用

保育園の空き枠を一時預かり制度として活用する等、既存の事業や制度を利用しながら仕組みを構築。地域ごとに特色あるサービスをパッケージ化し、自社開発のプラットフォームでブランドプロデュースを行う。

#### こどもの交流が地域の希望につながる

留学以降も家族の交流が続くケースがあり、移住家族も出ている（6家族／園児6名）。一部の園では海外からも家族を受け入れ、ダイバーシティ教育への挑戦を始めている。未来を担うこどもの交流で過疎地域に希望の灯りをとす。

#### 社員が地域に寄り添い、価値を共創

社員が近隣に居住し、地域課題を自分事として捉え、自治体や保育園と協議を重ね、地域に合わせた魅力あるサービスの仕組みを生み出している。地域に寄り添う企画・開発が、こども、親、地域にメリットのある三方よしの仕組み

づくりを支えている。

### 留学経験者と希望者のコミュニケーションが新たな子育て文化を醸成

留学コンシェルジュは、オンラインによる深いOne to One コミュニケーションで希望者の不安を解消し、家族と留学先の地域をマッチングする。

### 利用者の声からの迅速なサービス開発および改善

ふるさと納税の仕組みを応用した利用者負担を軽減する「留学先納税」(13地域)、都市に近く車が不要な留学先の開拓、「短期留学」(3泊4日約5万円)、夏期の「小学校留学」など、利用者、希望者の声に応え続々と新サービスを開発している。

### 「こどもまんなか社会」の実現に寄与

こどもを主役とし、地域に人を呼び込むアプローチは画期的である。過疎地域の課題解決に加え、都市部での子育ての悩みを解消し、都市と地域の2拠点生活を促進する「地方創生をリアルに前進させる」事業である。



家族で地域に滞在し、こどもは地域の保育園に通う

### 組織データ

組織名	株式会社キッチハイク
創立年	2012年
業種	教育サービス、生活関連サービス
本社所在地	北海道 檜山郡 厚沢部町
従業員数	33名